

2011年の東日本大震災にかんして多数の写真・映像記録が残され、ドキュメンタリー映画や映像作品として発表されたものも数多くあります。震災発生から8年が経ち、近年発表された映画・映像作品には、震災以前の地域の歴史文化と現在の生活の連なりを伝える作品、被災地で暮らす人たちの心情を丁寧に描き出した作品が散見されます。こうした作品は、震災以後の歳月の中で、制作者自身が時には数年間をかけて被災地に身を置き、個々の被写体との関係性を構築する体験を経て制作されています。

今回の研究会では、東日本大震災の発生から現在に至るまで、被災した地域と継続的に関わり活動が続けてきた映像制作者、地域に残された写真記録の見直しや映像制作の活動によるまちづくりを実践・検証する研究者の活動を通して、過去から現在を俯瞰し、地域の未来へ向かう対話を橋渡しする〈記録行為〉〈記録の見直し〉の可能性について考えます。

東北大学東北アジア研究センター
災害人文学ユニット
指定国立大学災害科学世界トップレベル研究拠点
災害人文学領域

東日本大震災に対応する形で、文化人類学・宗教学・歴史学は災害復興や防災に関わる調査研究事業を行うようになりました。従来、これらの学問分野は基礎研究を基軸とし応用的な側面は副次的な扱いでしたが、震災以降そうした状況は変化しました。具体的に言えば、文化人類学や宗教学は民俗芸能などの無形民俗文化財がもつ震災復興への役割についての実践的調査研究を、歴史学は地域の歴史文書資料に関わる保全活動を行ってきました。本ユニットは、これまで蓄積されてきたこれらの分野における災害に関わる実践的研究の成果を踏まえ、新たな研究領域の開発をふまえて、さらなる発展と総合化を行うことを目的とします。

10月16日(水) | 2019年度第2回災害人文学研究会 「ファイナダー越しの対話 — 記録が橋渡しする過去・現在・未来 —」

スケジュール

- 13:30 開会 (13:20 開場)
- 13:35-15:30 上映「福島いきものの記録シリーズ⑤」
報告①:「福島生きものの記録」シリーズについて
報告者: 群像舎
- 15:35-16:00 報告②:「記録と対話からまちづくりへ」
報告者: 黒石いずみ
(青山学院大学総合文化政策学部・教授)
- 16:00-16:25 報告③:「災害人文学ユニット活動報告」
報告者: 是恒さくら
(東北大学東北アジア研究センター・学術研究員)
- 16:25-16:40 コメンテーターからのコメント
- 16:40-17:10 総合討論

- | 会場 | BOTA Theater (山形県山形市七日町 2-7-18)
<https://bota-coffee.com>
- | 参加費 | 無料
- | 参加申込 | 不要
- | 問い合わせ先 | saigaijinbungaku@gmail.com
- | 主催 | 東北大学東北アジア研究センター
| 共催 | 指定国立大学災害科学
世界トップレベル研究拠点
災害人文学ユニット

研究課題

「震災映像のアーカイブ化と防災教育における活用」

災害の状況や体験者の証言、失われつつある地域の伝統行事や芸能などを記録し、背景の物語を交えてわかりやすく紹介する映像記録は、防災教育や被災地の歴史文化の継承・発展を喚起する媒体として文化財という意味もあります。東日本大震災に関連する映像は膨大であり、ドキュメンタリー映画だけでも数百タイトルが製作・上映されています。震災映像による地域社会の防災力を、震災前だけでなく震災後の災いを防ぐという意味も含めて活かすべく、国内はもちろんのこと海外の記録映画の制作者・研究者との研究会の開催および情報発信を通じて、震災映像をつくる・観る・伝える文化の発展と活用の方法論を探ります。

- コメンテーター: 原田健一 (新潟大学人文社会科学系附置地域映像アーカイブ研究センター・センター長)
- 司会: 高倉浩樹 (東北大学東北アジア研究センター・センター長/教授)



Friday, October 11

Screening of "Fukushima: A Record of Living Things" Episodes One to Five (English Version)

Schedule:

- 8:00-9:16 Episode One (76 min)
- 9:30-10:55 Episode Two (85 min)
- 11:05-12:36 Episode Three (91 min)
- 13:30-14:58 Episode Four (88 min)
- 15:10-16:45 Episode Five (95 min)

The event features five episodes of a documentary series entitled "Fukushima: A Record of Living Things" by Gunzocha Corporation.

Gunzocha Corporation was established in 1981 by Masanori Iwasaki, a renowned cinematographer, together with his cinematographer colleagues. The corporation dedicates to the production of documentaries on wildlife and the global environment. After the Great East Japan Earthquake of 2011, the corporation has been producing a series of documentary films to record the impact on wildlife due to the Fukushima nuclear disaster. The series is titled "Fukushima: A Record of Living Things," numbering five to date. This event introduces all the five episodes of the series.

Venue: BOTA Theater

(2-7-18 Nanukamachi, Yamagata)

<https://bota-coffee.com>

Admission free / No reservation required.

Contact: saigaijinbungaku@gmail.com

上映スケジュール

- 8:00-9:16 シリーズ① (76分)
- 9:30-10:55 シリーズ② (85分)
- 11:05-12:36 シリーズ③ (91分)
- 13:30-14:58 シリーズ④ (88分)
- 15:10-16:45 シリーズ⑤ (95分)

1981年に設立された群像舎は、おもに野生動物・地球環境をテーマに記録映画・テレビ番組を制作してきました。東日本大震災の発生後は、東京電力福島第一原子力発電所事故が生態系へもたらす異変を問い、2012年4月より警戒区域解除となった南相馬市小高区を皮切りに、浪江町の「希望の牧場」、川内村でのアカネズミ捕獲調査、警戒区域と富岡町の離れ牛などを追った記録映像を「福島生きものの記録」シリーズとして継続的に発表してきました。物言わぬ生きものたちに起きている異変を、研究者らの活動を通して伝え、原発事故以後の福島の生態系の実態を私たちに橋渡しする「福島生きものの記録」シリーズ5作を一挙に上映します。

| 参加費 | 無料

| 参加申込 | 不要

| 問い合わせ先 | saigaijinbungaku@gmail.com

会場：BOTA Theater (山形県山形市七日町 2-7-18)

<https://bota-coffee.com>

10月12日(土)

上映会 「福島生きものの記録」シリーズ (全5作) を観る (日本語版上映)